

平成29年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム 2017/9/28

心を合わせて地域の子どもを育む コミュニティ・スクール ～コミュニティ・スクール導入のあり方～

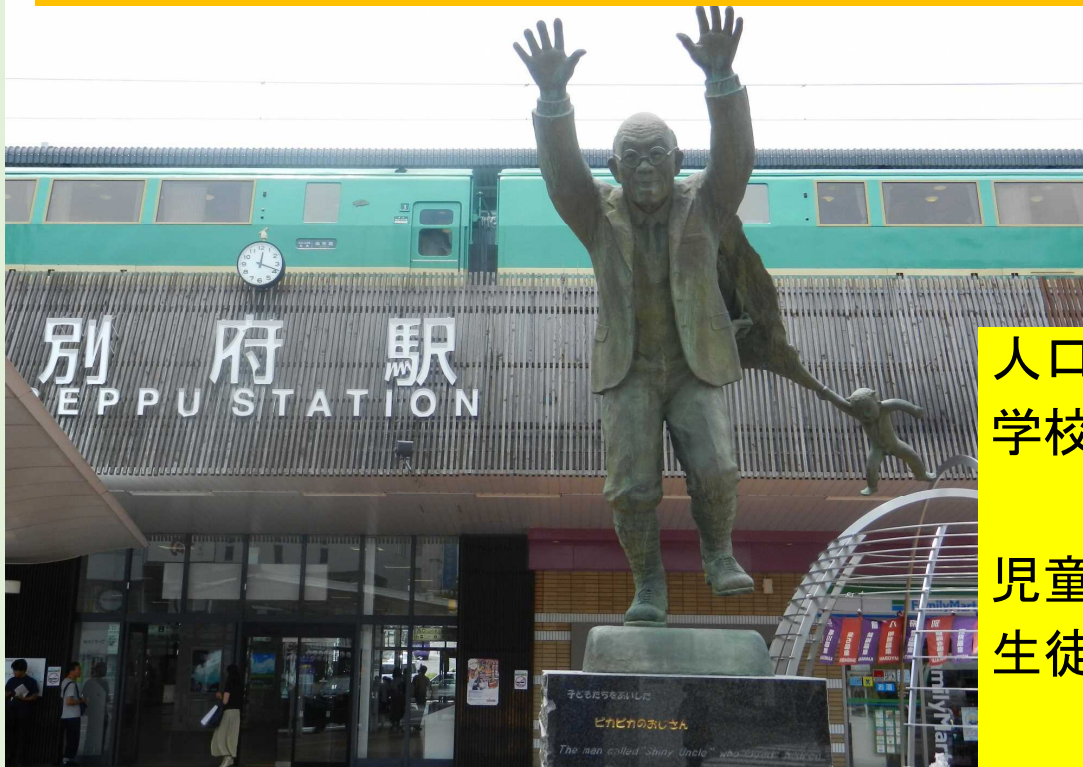
別府市教育委員会



©Team Beppyon



大分県 別府市



人口 約12万人
学校数 小学校 14校
中学校 8校
児童数 5,182人
生徒数 2,532人

(H29 5.1現在)

別府市のコミュニティ・スクール～今～



主体的に

家庭・地域と共に

中学校区で共通の取組に

全小中学校を
コミュニティ・スクールに指定

全小中学校へCS導入の背景

不登校の増加・いじめ事案の発生

家庭:教育への無関心

学校:独自の考え方

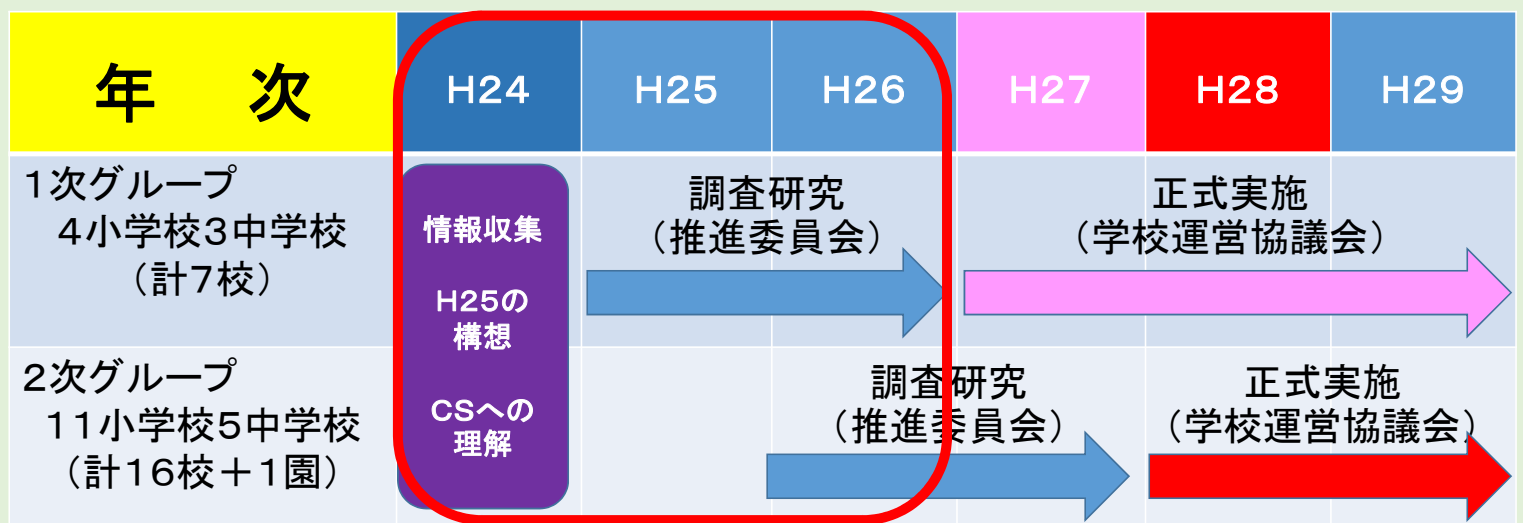
地域:連携の不足

学校改革と地域との協働

学校・家庭・地域の関係の再構築

地域とともにある学校へ

コミュニティ・スクール導入の流れ



H28年度までに市内全校にコミュニティ・スクールを導入

H24(情報収集・H25の構想)～7校のモデル校指定まで～

行政担当者が知ろう

- 先進校への視察
- 講演会等への参加や企画 →人との出会い

ビジョンを掲げ、条件整備をしよう

- 各課指導主事による熟議→行政の方針決定
- 各校が無理なく取組める→別府版CSの構築

学校・保護者・地域の方々に知ってもらおう

- 各種会議・研修会等での説明
→メリット・デメリットを伝え理解を図る

モデル校の指定(4小学校・3中学校)

H25(指定7校による調査研究)～推進委員会(学校運営協議会)の設置～

推進委員会

10～15人の委員
(様々な立場)

校長が推薦
(学校、家庭、
地域と連携
できる人材)

指導主事を
派遣
(学校と行政の
役割の明確化)



推進委員会
(学校運営協議会)

「今までの取組
との違いは？」

「何を協力
すればよい？」

H26(調査研究)～マネジメント力向上研修(教職員及び推進委員対象)～

マネジメント力 向上研修

- ①CSの概要を捉える
- ②全国の取組事例を知る
- ③別府市の教育課題や意識調査から研修プログラムを作成
- ④講義、演習、熟議、意識調査

教頭及びCS担当等の
教職員研修

CS推進委員研修

CSの理解

教職員及びCS推進委員
合同研修

学校で実施する
「CS推進委員会」の公開

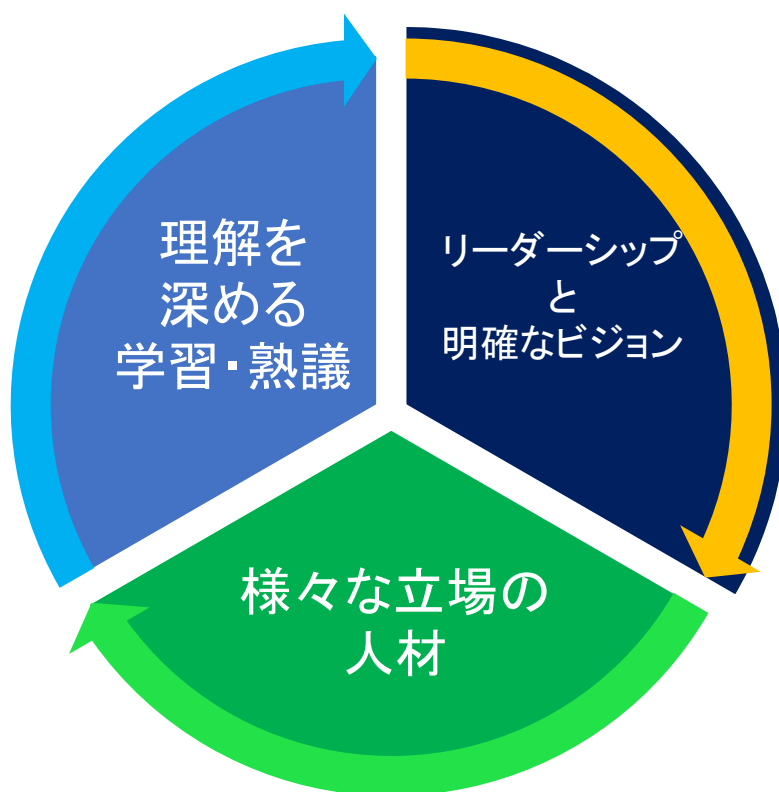
H26(調査研究)～マネジメント力向上研修(教職員及び推進委員対象)～

「何を協力
すればよい？」

「今までの取組
との違いは？」

マネジメント力
向上研修

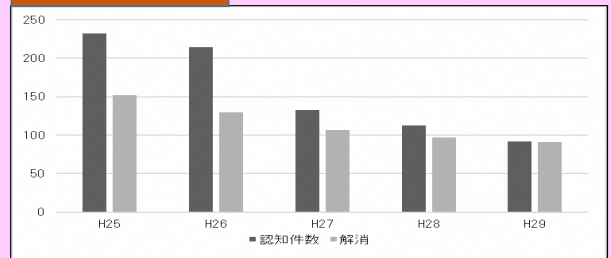
「推進委員会で何を話し合えば良いか分かった。」
「子どもの実態や学校の困りを出す会だったんだ。」
「ただ活動するのではなく、目的が大事なんだ。」
「子どもの実態をもとに、何が
できるか考えることが大切
だな。」



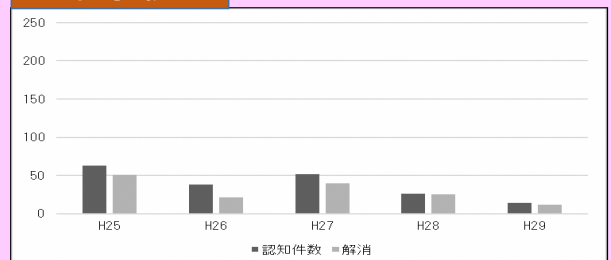
コミュニティ・スクール導入の効果 ～いじめ不登校数の推移から～

いじめの認知件数と解消状況の推移

小学校



中学校



不登校児童生徒数の推移

小中学校

